



「産業振興に関する表彰」を実施

五月二十一日（金）、かりゆしアーバンリゾート那覇において、「産業振興に関する表彰」の表彰式を開催しました。

竹林局長は受賞者へのあいさつの中で「本土復帰以来、沖縄の社会経済は着実に発展しており、近年、産業分野において、顕著な活躍をする地元企業や沖縄において多大な業績をあげる進出企業が多数見られるようになっています。各受賞企業の努力と創意工夫は、今後の模範となるものであり、今回の表彰をきっかけに「沖縄振興計画」にいう『沖縄の特性を十分に発揮したフロンティア創造型の振興』が今後更に推進されることを期待します。」と述べました。

本表彰は、新たな商品、サービスの開発その他新規性のある事業展開を行う県内企業、又は県内に近年進出した企業の中から、沖縄の産業活性化に著しく寄与し、今後の創業・事業展開・進出等の模範となるものを表彰することにより、沖縄県内の創業・新規事業展開の意欲を喚起するとともに、沖縄への企業進出を促進し、もって沖縄における産業振興を一層推進することを

目的として、今回新たに沖縄総合事務局発足の日を記念して実施することとしたものです。

今回の受賞企業は、地域特産を活用した菓子類の商品開発で沖縄特産品の知名度向上に貢献した「□お菓子のポルシェ」、新技術により地域環境問題の改善に寄与した「□トリム」、沖縄の植物天然素材の高付加価値利用に寄与した「□バイオ二二〇」、コーレルセンター立地の牽引役になるとともに、人材育成に大きく貢献した「□CSKコミュニケーションズ」、オンライン・オフィス技術を有する進出企業として県内の先端技術者の育成に尽力した「□アクロラード」の5社であり、竹林局長から表彰状の授与が行われました。

